

令和5年度 第2回子どもごみ減量講座実施結果概要

■ テーマ

魔法の布 ふろしきで2R～お気に入りの1枚を使って使おう～

■ 概要

ふだん、あまり使うことがない「ふろしき」ですが、実は包むものや結び方で、いろいろな形に変わる魔法の布です。“2R”を意識した暮らし方にピッタリのふろしきですが、今回、おうちで使わなくなった“はぎれ”やハンカチ、もう着ない洋服の生地を貼ったり、布用ペンで模様を描いてオリジナルふろしき作りにチャレンジし、結び方も学びました。

■ 講座の詳細

結びやゆいく ふろしきライフプランナー小倉マカナさんを講師に、子どもが興味・関心をもって“ごみ減量・2R”について考えるきっかけとなるよう、体験型の講座を実施しました。

最初に、包むだけではないふろしきの魅力を子どもたちに伝えるために、簡単にできる様々なふろしきバックやマントの結び方を講師が披露しました。子どもたちからは歓声上がり、便利でエコなふろしきの良さが伝わったようです。

引き続き、保護者の方も参加して「2Rクイズ」を行いました。「ふろしきはプラスチックごみや雑がみを減らせる?」、「レジ袋1枚使わないとごみの量は何グラム減らせる?」等、ふろしきとごみ減量・2Rについてクイズ形式で楽しみながら学びました。

最後は、ワークショップでオリジナルふろしきづくりとそれを使った結び方を学びました。子どもたちは、事前に準備した“はぎれや”、自分や家族が着なくなったパジャマ・ワンピース・ジーンズ・Tシャツ等の一部を切って張り付けたり、布用ペンでお気に入りの絵を描いて作品を完成させ、一斉に展示しました。作品は、どれも力作ぞろいで、ふろしきの“白色”や“97センチ四方の大きさ”を活かしたデザインやワンピース裾のフリルやジーンズのポケットを活かしたデザイン等、子どもたちの豊かな発想があふれていました。講師から基本の「真結び」の仕方とほどこき方を学んだ後、「インスタントバック」の結び方にチャレンジしました。早速、「メッセージバック」として斜め掛けしたり、持ってきた荷物を入れて帰る子どもの姿も見られました。世界に一枚のふろしきを、様々な場面で使ってもらえることを期待しています。

● 丸いスイカやボールも
ふろしきバックでこのとおり!



● 何問できたかな?
「2Rクイズ」に挑戦!



● ふろしきバックにチャレンジ!
できるかな～



● 力作ぞろいの世界に
一枚だけのふろしきたち!

